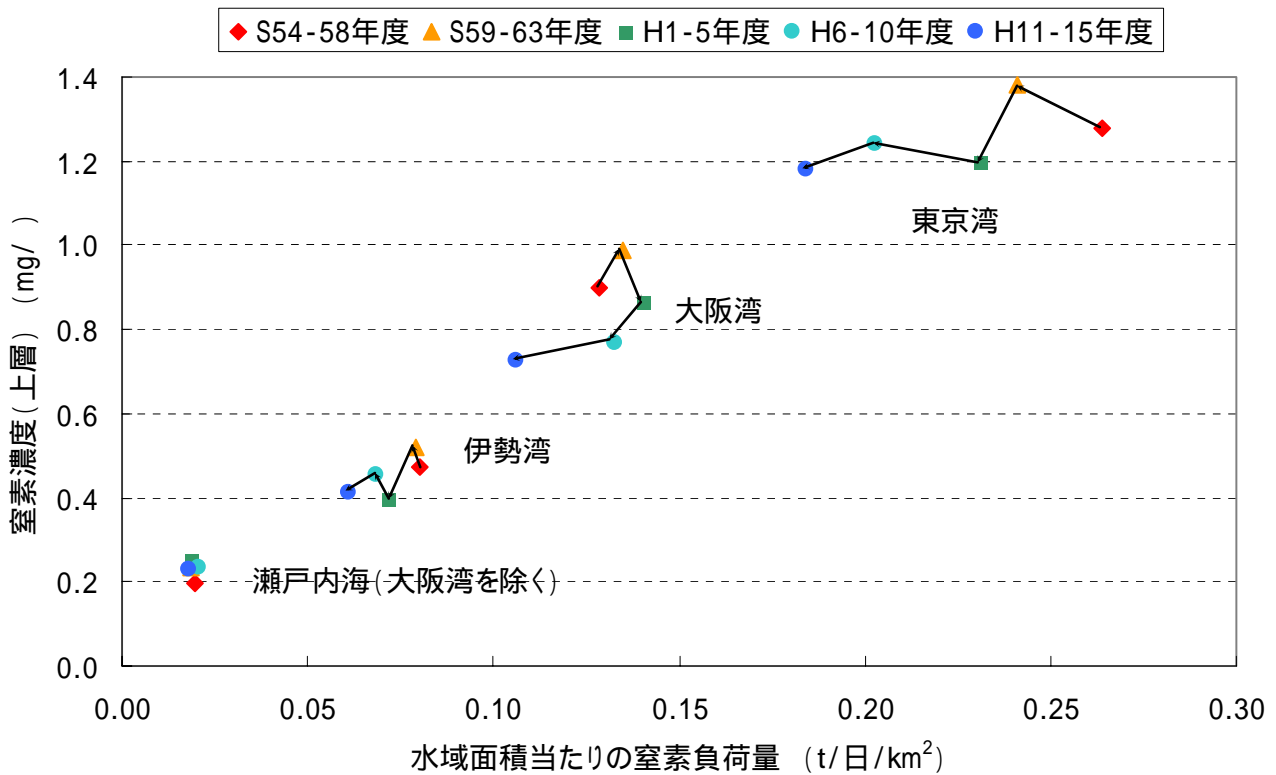


出典) 発生負荷量: 発生負荷量管理等調査(環境省)、水質濃度: 広域総合水質調査(環境省)及び公用水域水質測定結果(環境省)。

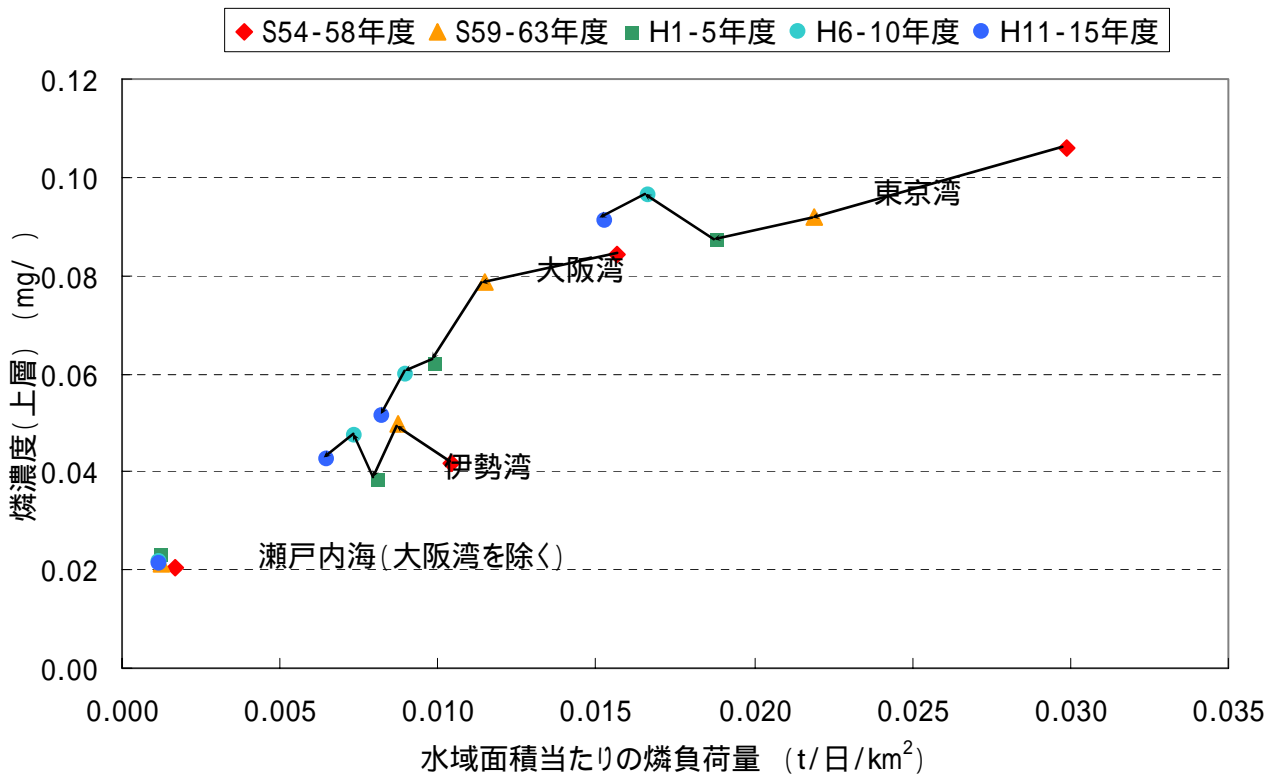
備考) 補正CODとは、各指定水域のCODから、昭和56～58年度の期間平均濃度を基準とする太平洋沿岸における平均CODの変化分を差し引いた値。

図27 水域面積あたりの発生負荷量とCOD及び補正CODの推移



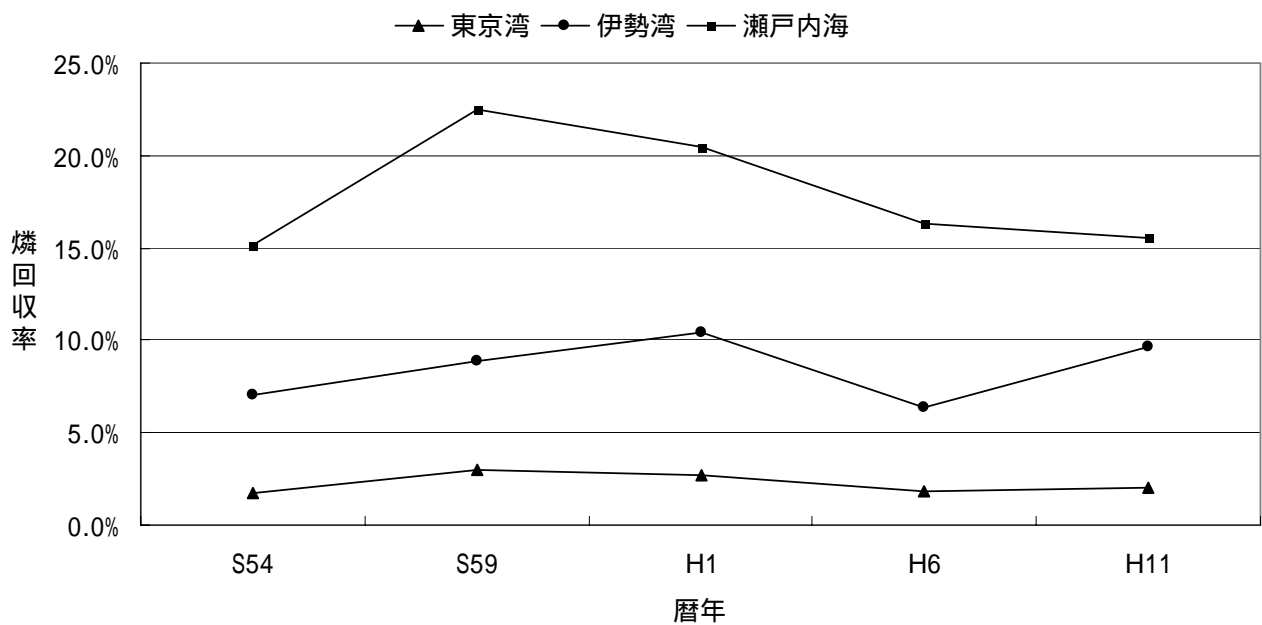
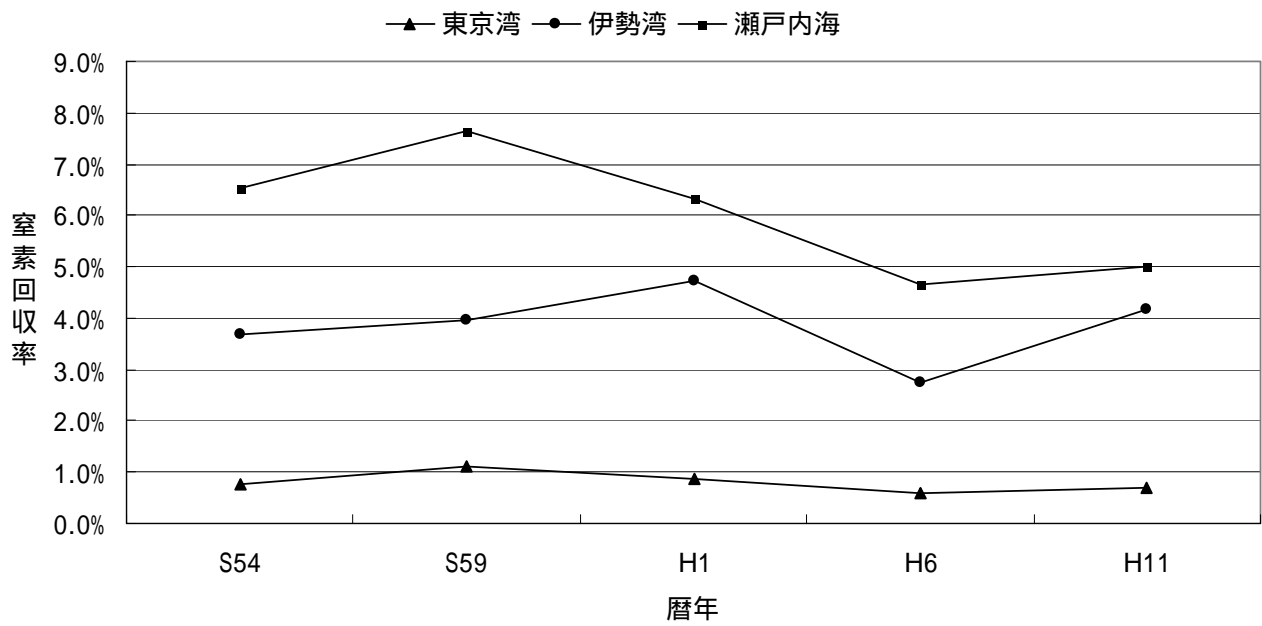
出典) 発生負荷量: 発生負荷量管理等調査(環境省)、水質濃度: 広域総合水質調査(環境省)

図 2 8 水域面積あたりの発生負荷量と窒素濃度の推移



出典) 発生負荷量: 発生負荷量管理等調査(環境省)、水質濃度: 広域総合水質調査(環境省)

図 2 9 水域面積あたりの発生負荷量と磷濃度の推移



出典) 漁獲量・収穫量: 地方農政局統計・情報センター等の漁業統計データ

含有率: 各種文献データ

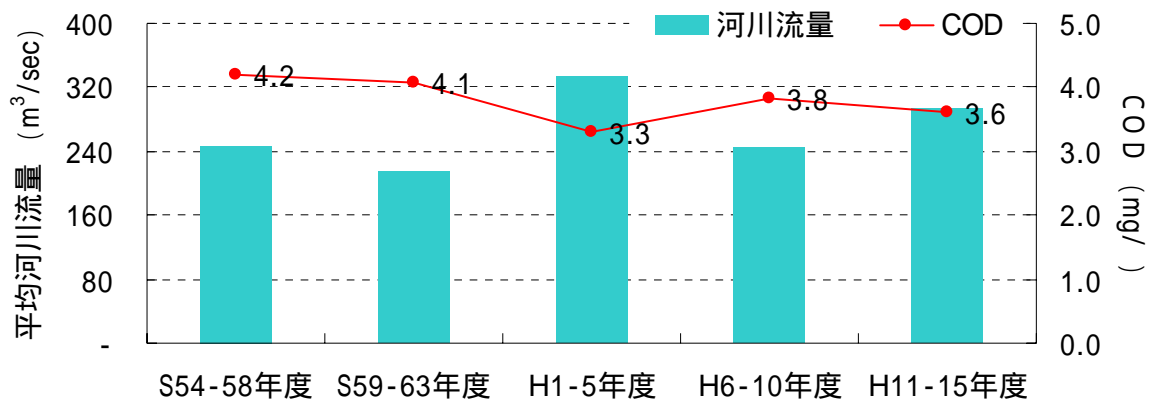
備考) 回収率 = 回収量 / 発生負荷量

回収量 = 漁獲量(収穫量) × 魚体等に含まれる窒素及び燐の含有率

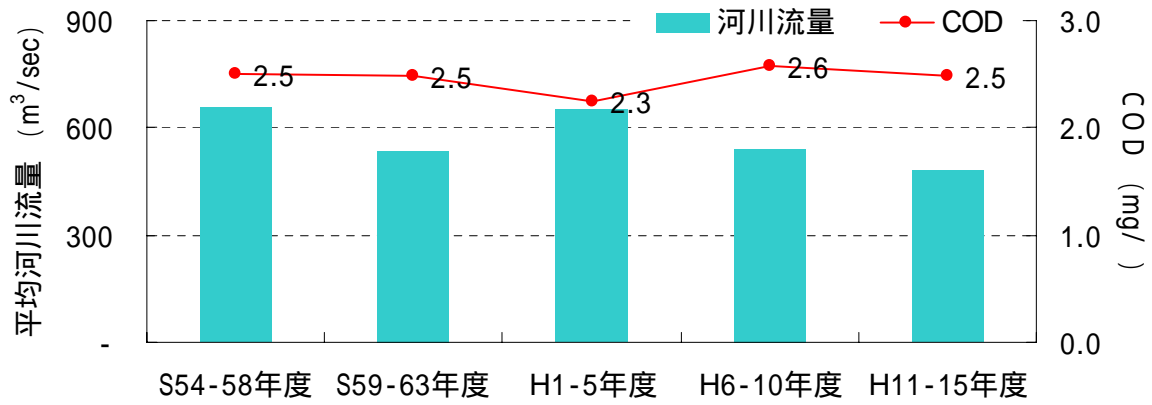
東京湾及び伊勢湾については、海面漁業の漁獲量のみ考慮。

瀬戸内海については、漁獲量に加え「のり養殖」及び「かき養殖(殻付き)」の収穫量も考慮。

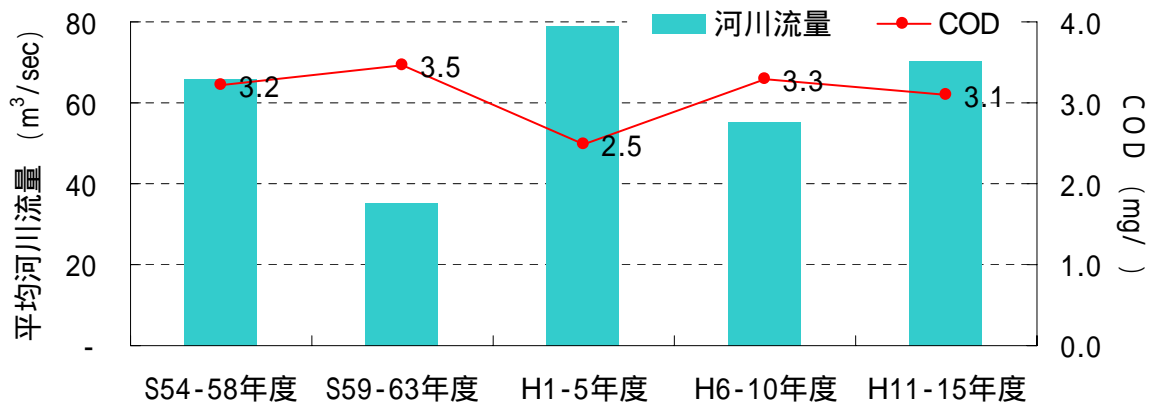
図 3 0 漁獲による海域からの窒素及び燐の回収率



(1) 東京湾



(2) 伊勢湾(三河湾を除く)



(3) 三河湾

出典) 河川流量: 流量年表

図 3 1 海域別のCODと河川流量の推移